

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 49

川と農村景観の保存

愛媛県 内子町長

こうち
河内 絃一



内子町石畳地区は山間地という生活条件の厳しい地域で、住民自らによる地域づくりを実践している。

平成8年から毎年、ホテル学習会や自然観察会を開催し、地域住民や小学生と共に、ホテルの生態や生き物について学び、石畳地区を流れる麓川の河川環境の保全を目指して、地域が一体となり河川環境保全を図ってきた。

この活動の成果で、近年、県道改良工事に伴う河川工事には、従来のコンクリートを使った工事ではなく、石を使った水制工の採用や法面への照葉樹の植栽が行われた。

さらに、棚田に水を得るための堰に魚道を造り、

水遊びができるように石積での堰の改修が行われ、住民が親しみやすく、河川環境に配慮した工法へと転換してきた。

その昔、この麓川には30基以上の水車があった。現在、3基の水車が復元され精米をし、水車米として地元の女性が経営する町の宿「石畳の宿」に提供している。

また、集落近くに湧き出る湧水にも注目して、久保川湧水やかわじ湧水を整備し地域で親しまれている。

今後も限りある水資源を大切にし、心豊かに生活でき、子供たちに誇りと自信が持てる地域となるよう願っている。



川の自然観察会



改修された正体下堰



川の法面の植栽



石を使った河川の改修